

《学校だより》



さくら

重点目標：学び・成長を止めない子どもの育成
～わかるかも できるかも～

令和8年度
小樽市立桜小学校

5月29日

第3号

桜小HP→



行事を通して、成長しつづける逞しさ

校長 金井 建 憲

5月23日（土）、本校の運動会を晴天の下、実施することができました。会場にいるたくさんの保護者や地域の方々の声援を受けながら、低学年も高学年も全力で頑張ることができました。一人一人全員が、ものすごく輝いていました。

子どもたちは、教科での学びの他に学校行事（特別活動）を通して多くのことを学びます。今回の運動会を通しては、以下の5点のような成長を感じることができました。

- ① 自分でしっかりと並ぶことができる
- ② 友だちと協力して、活動することができる
- ③ 話を聞いて、自分で考えて行動することができる
- ④ 相手を思いやることができる
- ⑤ 自分の力を確認することができる



練習中、担任からの指導でよく聞こえたのは「静かになるまで待つ」「自分の位置に並ぶ」「競技中の態度」「ルールを守る」等です。これらに共通して必要なのは、「自分事として話を聞いて、考え、行動する」ことです。上に挙げた③がとても大切なことがわかります。



1年生を例にあげてみましょう。はじめは、まっすぐ並ぶこともなかなかできなかった子たちが、本番では担任の指示を聞いて自分たちで並び順を確認しながら、縦も横もまっすぐに並ぶことができていました。中には、自分の位置に自信が無いときに隣の子の位置を参考にして調整する子までいました。「他者参照」ができる力を身につけた姿に感動しました。きっと、この力は他の学習場面でも生かしていくことができるはずです。

話を聞くことで、新たな発見や気づきが生まれ、活動が楽しくなってきます。『できなかった自分が できる自分になっていく楽しさ』を味わうのは、子どもたちの意欲につながります。これからも、「わかるかも できるかも」を合い言葉に、学力も体力も高めつづけることができるように指導していきます。



1年生を迎える会

入学して約一ヶ月がたった5月8日(金)、「1年生を迎える会」が行われました。

3.4年生がつくるアーチの中を、ぐんと大きくなった2年生がリードして、1年生が元気に入場しました。

運営委員が考えたゲーム「じゃんけん列車」や「もうじゅうがり」では、全校児童が学年問わず交流して楽しんでいました。1年生からは元気な歌の披露もあり、楽しい時間となりました。帰りは5年生と手をつなぎ、6年生が心を込めて丁寧に作ったプレゼントを手にしてニコニコと嬉しそうでした。



学校運営協議会 委員を紹介します

よろしくお願いいたします(敬称略)

委員長 水口 正紀

委員 西野 博孝 村井 浩昭

千田 三夫 佐々木 かをる

藤崎 淳 高橋 雅子

千葉 久美子 立岩 豊

東 義弘 古木 健史

桜小・桜町中 管理職

水筒の持参について

水筒の持参につきましては1年を通して水かお茶としておりますが、先日テトルでもお知らせしました通り、熱中症対策のため、スポーツドリンクも可能といたします。(9月末をめどとしています。)

ネッククーラーや冷タオルについては必要に応じて活用ください。なお、ハンディファンなど、電動のものについては使用不可としていますのでご理解のほどお願いします。

149 → 150

「ニシン漁と臨時休校」

小樽はニシン漁で栄えた地域ですが、桜小にもニシンがたくさんとれたことの記録が残っています。それは、「ニシン大漁のため臨時休校」です。1番古い記録では、明治38年。

昭和6年には、「ニシン大漁のため4月14日から3日間臨時休校する」とあります。大変な豊漁で、身欠きニシンをつくるための作業にたくさんの人手が必要だったことも関係あるのかもしれませんが。

さらに、昭和8年には「ニシン大漁のため4月12日から4日間、また4月20日から5日間臨時休校」と記録されています。

高学年になると「小樽の歴史」という副読本も活用し、学習します。

この副読本はデジタル化され、今は一人一台端末でいつでも調べることが可能になっています。

★お知らせ★ 次号より学校だよりをテトル配信いたします。希望されるご家庭にはこれまで通り、紙配付も可能です。学校までお知らせください。